

教育課程部会 実施案内

「深い学び」を追求する
～個別最適で協働的な
授業づくりと思考力の究め方～

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会

世界が多様化し激しく変化する社会の中で、様々な課題を解決するための人材育成が求められている。そこで、生徒たちが創造性を培い、主体的に学び続けられるように、先を見据えた「深い学び」を絶えず追求・発展させることは私学の使命である。その実現には、最新の教育情報を取り入れた授業づくり等教員の自己研鑽は欠かせない。今年度の当部会では、「個別最適で協働的な学びを取り入れた授業のつくり方」と「創造的思考力の育み方」について、講演・ワークショップで自ら実践して深く学び、学校視察や研究討議等のプログラムを通して、それぞれの課題や目標に向き合い、成長する場としたい。

会 期 令和6年6月27日(木)・28日(金)

会 場 初日・全体会 京都リサーチパーク 4号館 (京都市下京区中堂寺栗田町 93)
1号館 (京都市下京区中堂寺南町 134)

教育懇談会 京都リサーチパーク 1号館 1階「アトリウム」

JR 嵯峨野線丹波口駅から徒歩約5分 (京都駅から2駅5分)

2日目・学校視察 立命館宇治中学高等学校 (京都府宇治市広野町八軒屋谷 33-1)

JR 宇治駅から京都京阪バスにて約15分 (立命館宇治高校バス停下車)

募集人員 120名

参加対象 理事長・校長・副校長・教頭・教務主任及び教員

※参加対象校は都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費 26,000円 (初日昼食費・教育懇談会費を含む。宿泊費別) ※宿泊は各自でご手配下さい。

参加日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	30	50	30		30	45	15	45	30	30
6月27日 (木)		受付	開会式	講演Ⅰ ワークショップ	休憩 昼食	講演Ⅱ ワークショップ	休憩・ 移動	研究討議	移動	教育懇談会
6月28日 (金)	受付	開会	授業視察 施設見学	学校説明 実践発表	全体会 (質疑応答)	閉会式				

研修内容

●初 日●

◆講演Ⅰ・ワークショップ◆

演 題 「深い学び」のデザイン—対話型論証を通して—
講 師 松下 佳代 京都大学大学院教育学研究科教授

◆講演Ⅱ・ワークショップ◆

演 題 「探究的な学びと授業文化のアップデート」
講 師 西村 圭一 東京学芸大学大学院教育学研究科教授
講 師 藤村 祐子 東京学芸大学先端教育人材育成推進機構准教授

◆研究討議◆

テーマ 「深い学び」の追求
★グループに分かれて研究協議・情報交換を行います。

◆教育懇談会◆

参加者同士の交流を深め、情報交換や今後のネットワークを作る立食形式の懇談会です。

●2日目●

◆学校視察◆

立命館宇治中学高等学校

- 視察内容 ①授業視察 ②施設見学 ③学校説明
④実践報告 ⑤全体会（質疑応答等）

視察校紹介

立命館宇治中学高等学校

（理事長 森島 朋三／校長 越智 規子）

立命館宇治中学高等学校は、1965年に「学校法人宇治学園」が設置、「宇治高等学校」を創立された。1994年に学校法人立命館と学校法人宇治学園の法人合併により「宇治高等学校」を「立命館宇治高等学校」に改称された。翌1995年に立命館宇治高等学校に1期生が入学、2003年に立命館宇治中学校が開校された。2009年に国際バカロレア機構(IBO)により関西の一条校初のIBディプロマ・プログラム(DP)校として認定され、世界基準の探究学習を実践する高校IBコースと中学IPコースを開設し、ハーバード大学をはじめとする海外名門大学への進学者を輩出している。また、1年間の留学とイマージョン授業でグローバルリーダーを育成する高校IMコース、3年間の探究を柱に文理融合の学びを究める高校IGコース、多様な学びと経験を通して確かな基礎力と探究力を育む中学ICコースを展開している。



立命館の建学の精神「自由と清新」と、教学理念「平和と民主主義」に基づき、卓越した言語能力に基づく知性と探究心、バランスのとれた豊かな個性、正義と倫理に貫かれた寛容の精神を身につけた未来のグローバルリーダーを育成し、世界と日本の平和的発展に貢献することを教育目標とし、国際バカロレア機構が提唱する「Learner Profile (学習者像)」をふまえた「理想とする人間像」を明確に定め、その育成をめざし教育を展開している。課外活動においても、高校の硬式野球部、柔道部、陸上競技部、アメリカンフットボール部、チアリーダー部、ラクロス部、バトントワリング部、中学のアメリカンフットボール部、テニス部、バトントワリング部など、全国レベルの大会で活躍。その実践を探究の学びに繋げる文武の往還により、さらなる高みを目指している。

講師プロフィール

松下 佳代 京都大学大学院教育学研究科教授

京都大学大学院教育学研究科教授。京都大学博士（教育学）。

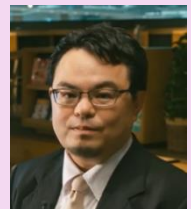
京都大学大学院教育学研究科博士後期課程学修認定退学。京都大学教育学部助教、群馬大学教育学部助教授、京都大学高等教育教授システム開発センター助教授、高等教育開発推進センター教授を経て、2022年10月より現職。専門は、教育方法学、大学教育学。特に能力、学習、評価をテーマに研究と実践支援を行っている。

近著に『対話型論証による学びのデザイン—学校で身につけてほしいたった一つのこと—』（勁草書房、2021[単著]）や『対話型論証ですすめる探究ワーク』（勁草書房、2022[共著]）など多数。



西村 圭一 東京学芸大学大学院教育学研究科教授

東京都立高等学校、東京学芸大学附属大泉中学校、同国際中等教育学校教諭、国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部総括研究官、東京学芸大学教育学部数学科教育学分野教授を経て、現職。東京学芸大学「高校探究プロジェクト」プロジェクトリーダー。専門は数学教育学。博士（教育学）



藤村 祐子 東京学芸大学先端教育人材育成推進機構准教授

東京学芸大学高校探究プロジェクト事務局。京都府立大学大学院農学研究科修了後、高校理科（化学）教諭として滋賀県立公立高校勤務。滋賀県総合教育センターの研修指導主事を経て2021年4月より現職。東京学芸大学「高校探究プロジェクト」において、ワークショップ型教員研修プログラムや各教科における探究的な学びの実現に向けた授業づくりワークショップ等の企画・運営を担当。



◆研修会日程・プログラム◆

【初 日】6月27日(木)

〈受付・全体会場〉京都リサーチパーク4号館地下1階バズホール

10:00~10:30	◇受付◇	
10:30~11:00	◇開会式◇	司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 役員・専門委員紹介 4. 研修会運営方針説明 森 涼 教育課程専門委員長 5. 日程説明 6. 閉式
11:00~12:30	◇講演Ⅰ・ワークショップ◇	司会 教育課程専門委員 講師紹介・謝辞 広石 英記 東京電機大学副学長 演 題 「深い学び」のデザインー対話型論証を通してー 講 師 松下 佳代 京都大学大学院教育学研究科教授
12:30~13:15	◇昼 食◇	会場：全体会場
13:15~14:45	◇講演Ⅱ・ワークショップ◇	司会・講師紹介・謝辞 教育課程専門委員 演 題 探究的な学びと授業文化のアップデート 講 師 西村 圭一 東京学芸大学大学院教育学研究科教授 講 師 藤村 祐子 東京学芸大学先端教育人材育成推進機構准教授
14:45~15:00	◇休憩・移動◇	
15:00~16:30	◇研究討議◇	会場：4号館及び1号館に分かれて実施 テーマ 「深い学び」の追求 6つの会場に分かれ、小グループで参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。(司会は参加者が務めます)
16:30~17:00	◇休憩・移動◇	
17:00~18:30	◇教育懇談会◇	会場：1号館1階「アトリウム」 司会・進行 教育課程専門委員 参加者同士の交流を深め、情報交換や今後のネットワークを作る立食形式の懇談会です。
18:30	◇解散◇	

【2日目】6月28日(金)

〈会場〉立命館宇治中学高等学校

※京都駅・視察校間の送迎バスが利用できます(希望者申込制)。詳細は5頁参照。

9:00~9:30	◇受付◇	
9:30~12:30	◇学校視察◇	司会 八木 誠 立命館宇治中学高等学校副校長 ○校長挨拶 越智 規子 立命館宇治中学高等学校校長 ○授業視察・施設見学 中学1年生から高校3年生(予定)までの第2校時の授業を視察します。 ○学校説明・実践報告 西原 丈人 高校教頭/酒井 淳平 キャリア教育部長 ○全体会(質疑応答) 立命館宇治中学高等学校担当者 お礼のこたば 教育課程専門委員
12:30~12:45	◇閉会式◇	司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開式 2. 総括 森 涼 教育課程専門委員長 3. 閉会挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
12:45	◇解散◇	

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

◆講師・指導員 (順不同) ◆

松下佳代
西村圭一
藤村祐子
越智規子
八木誠人
西原丈平
酒井淳行
吉田邦行
平方石
広石英記

京都大学大学院教育学研究科教授
東京学芸大学大学院教育学研究科教授
東京学芸大学先端教育人材育成推進機構准教授
立命館宇治中学高等学校校長
立命館宇治中学高等学校副校長
立命館宇治中学高等学校高校教頭
立命館宇治中学高等学校キャリア教育部長
富士見丘中学高等学校理事長・校長
一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
東京電機大学副学長

◆専門委員・指導員 (順不同) ◆

森涼
大羽聡
松谷茂
鈴木木弘
齋藤眞
川本芳久

学校法人石川高等学校・石川義塾中学校理事長・校長
千葉英和高等学校理事長・校長
学校法人文化杉並学園理事長
香蘭女学校中高等科校長
立花高等学校校長
一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長

◆会場のご案内◆ ※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。(車でのご来場はご遠慮下さい。)

【初日】 京都リサーチパーク

JR 嵯峨野線丹波口駅から徒歩約 5 分 (京都駅から 2 駅 5 分)

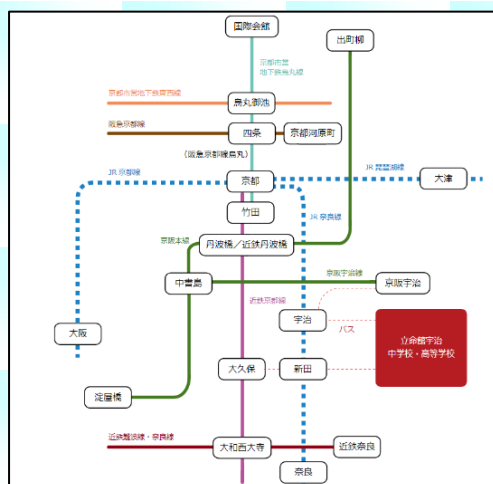
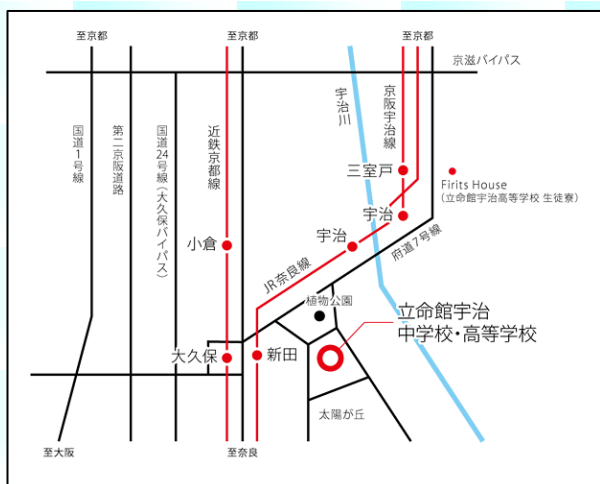
<https://www.krp.co.jp/access/>



京都リサーチパークへのアクセスはこちらの QR コードからご覧頂けます。

【2 日目】 立命館宇治中学高等学校 JR 宇治駅から京都京阪バスにて約 15 分 (立命館宇治高校バス停下車)

<https://www.ritsumeai.ac.jp/uji/>



立命館宇治中学高等学校へのアクセスはこちらの QR コードからご覧頂けます。

◆参加申込み方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の申込先に FAX または郵送でお送り下さい。
お電話での申込はできません。

申込み先 一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当宛

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 HP <https://www.shigaku.or.jp/>



2. 申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。
申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

申込締切日 6月14日(金)必着

3. 申込受付後、「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」を郵送します。
参加費は「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで以下の
振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、
大切に保管して下さい。研修会当日受付に「参加確認証」をご提示下さい。

参加費振込期限・キャンセル期限 6月19日(水)

4. 申込後2週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。

◆変更・キャンセルについて◆

必ず FAX で日本私学教育研究所へご連絡下さい。

- ①変更の場合は「参加確認証(再発行)」を郵送します。
②キャンセルの場合は「キャンセル確認書」を FAX で返信します。

キャンセルポリシー

6月19日(水)迄のキャンセル	6月20日(木)以降の連絡・当日無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はありません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合はキャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は状況により対応しますのでご相談下さい。

◆研修会における新型コロナウイルス感染症への対応方針について◆

研修会における新型コロナウイルス感染症への対応方針は[当研究所ホームページ](#)をご覧ください。

◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用します。

◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

令和6年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
教育課程部会 参加申込書

令和 6 年 ___ 月 ___ 日

参加者氏名	(ふりがな) _____	職 名	
		担当教科	
		教員年数	年目

※職名、担当教科、教員年数は研究討議グループ編成の際に参考にさせていただきます。教員年数は(非常勤等)講師期間を含む。

学校(法人)名	
---------	--

学校(法人)住所	〒 _____
	TEL () FAX ()

※参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先及び受取人氏名をご記入下さい。

参加者連絡先	携帯電話番号 ()
--------	------------

※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号をご記入下さい。

メールアドレス	※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。
---------	---

2日目学校視察 京都駅からの 送迎バス利用申込	利用する	利用しない
	※利用の有無を○で囲んで下さい。	

事前アンケートについて 講師・視察校への質問事項等、研究討議に関する事項を別紙「事前アンケート回答用紙」でご回答下さい。

通信欄

※FAX または郵送でお申込下さい。

※複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお申込下さい。

受付 No.	
--------	--

(別紙)

令和6年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会 教育課程部会 事前アンケート回答用紙

※FAX (03-3222-1683) または右記 QR コード (Googleフォーム) で
6月7日(金)迄にお送り下さい。



学校名：

職 名：

氏 名：

1. 視察校への質問

2. 講師への質問

①松下佳代氏

②西村圭一氏／藤村祐子氏

3. 研究討議テーマに関する以下の事項についてご記入下さい。

①探究活動についての取り組み（教科の中で行う探究的な授業／効果的な ICT 利活用）及び課題（問題点／教職員の学びのあり方／これからの展望）など

②個別最適な学びのデザイン（授業デザイン／評価方法／心理的安全性／教職員の意識）

③学校での深い学び（論理的・創造的思考力）を育むための実践（所属校での創造性を育むための取り組みや工夫）及び課題（問題点／これからの展望）

④その他討議したい内容など